

第24期第5・6回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日 時：2024年2月12日（月・祝） 14：00～17：50

場 所：オンライン（Zoom）

議 長：伊藤淳史

記 録：鬼頭弥生

出席者：秋津元輝、足立芳宏、伊藤淳史、大仲克俊、北野慎一、鬼頭弥生、木原奈穂子、工藤春代、坂梨健太、柴崎浩平、関根佳恵、高篠仁奈、高田晋史、長命洋佑、西村武司、野中章久、増田忠義、松下秀介、Keshav Lall Maharjan（以上19名、五十音順）

- 1 秋津会長より開会の挨拶がなされた。

【議題および報告】

- (1) 理事会・総会の議事録確認（庶務）

- (2) 2023年度大会の結果について

- ・大会受付者数（庶務）

高田庶務担当理事より、大会対面受付数、および時間管理等の課題について報告がなされた。

- ・大会講演会および個別報告について（企画）

松下企画担当理事より、大会シンポジウムのZoom Webinar 登録・接続数、個別報告エントリー数・報告数、および個別報告優秀賞のエントリー数・選考対象数と課題（オンライン参加者の資格確認・担当間の連携、オンライン参加者向けの映像・音響、個別報告優秀賞エントリー取消の事例多数）について報告がなされた。

- ・国際シンポジウム（国際化）

関根国際化担当理事より、国際シンポジウムの参加者数、到達点、運営上の課題（参加者数、動画再生・音響）とそれらの改善案について報告がなされた。

- ・大会決算報告について（会計）

大仲会計担当理事より、大会決算報告がなされた。

- (3) 会長指名理事の選任について（会長）

松下企画担当理事より、現在の企画担当理事4名の体制に対して、小川景司会員に企画担当常任理事を委嘱し、5名体制としたい旨の提案がなされた。審議の結果、承認され、小川景司会員に対して会長指名理事および企画担当常任理事の委嘱をおこなうこととなった。

- (4) 年間スケジュールについて（庶務）

第24期の年間スケジュールについて、高田庶務担当理事より説明があり、内容を確定した。なお常任理事会の日程は、第7回：4月20日（土）（オンライン）、第8回：9月28日（土）（オンライン）となった。第74回大会開催日は10月26日（土）・27日（日）を第一候補として調整することとなった。

(5) 2024 年度大会について（企画・国際化）

松下企画担当理事より、第 73・74 回大会統一テーマを踏まえた、第 74 回大会シンポジウムテーマ案、報告者の構成案に関する報告がなされた。次に、関根国際化担当常任理事より、第 74 回大会の国際シンポジウム企画案（テーマと登壇者）に関する報告がなされた。

また、個別報告（企画）、国際シンポジウム（国際化）、地域シンポジウム（開催校）のタイムスケジュールの調整が必要であることが確認された。

(6) 2023 年度決算等について（会計）

大仲会計担当理事より、2023 年度会計決算報告（案）について報告があり、学生に対する論文掲載料免除措置の影響もあり、収入が予算額より 149,718 円減、支出については予算額より 348,453 円減、結果として 537,575 円の赤字決算となったことが報告された。前年度からの繰越剰余金から当期剰余金（欠損金）を差し引いた、2,991,599 円を次年度の繰越剰余金とする旨の説明がなされた。繰越剰余金が 300 万円を下回り、今後の予算執行の仕方を見直す必要があることが報告された。審議の結果、決算報告案については承認され、会計監査を実施することとなった。

木原会計担当理事より、2024 年度会計の見通しとして、ニューズレター電子化に伴う執行額の減少の見通しが報告された。

また、木原会計担当理事より、年会費の滞納に関連して、個別報告論文投稿時の投稿者の年会費が未収となる可能性への懸念が説明され、議論が行われた。「個別報告論文投稿要領」において掲載年までの会費の入金が掲載の必要条件として規定されていること、現在は企画担当にて個別報告の筆頭報告者の年会費納入状況の確認・未納入者への請求を行っており、報告および個別報告論文投稿時の納入状況確認はなされていることが確認された。論文掲載時の掲載料納入および年会費納入状況の確認の手続きについては、編集担当において事務局への確認をすることとなった。

続けて、木原会計担当理事より、年会費および大会参加費のクレジットカード決済導入費用の試算結果について報告がなされた。審議の結果、年会費分のみのクレジットカード決済導入（手数料は会員負担）が現実的であること、年会費のクレジットカード決済導入と払込用紙郵送との併存は現実的でないことが確認された。クレジットカードを持たない会員（留学生等）への対応に懸念があるため、銀行振込の案内等で対応可能か否か、事務局に確認し、継続審議することとなった。

(7) 学会誌編集状況について（編集）

野中編集担当理事より、学会誌の編集・発行状況、および研究論文の投稿・審査状況、書評の依頼・作業状況、および 2023 年度大会個別報告論文の投稿・審査状況等に関する報告がなされた。

(8) 会員の異動・除籍者取り扱いの最終確認・会員数推移への対応について（組織広報）

柴崎組織広報担当理事より、新規入会者 2 名、退会者 41 名の会員異動があったことの報告がなされた。退会者のうち 9 名については、長期会費滞納の該当者で總會以降も入金が確認されなかったため、規程に沿って強制退会とした旨の報告がなされた。また、新入会員 1 名より学生会員資格の申請があり、資格条件を満たす旨の説明がなされ、審議の結果、承認された。

続けて、秋津会長より、会員数の推移と収支の状況の説明がなされ、今後の学会運営に向けた議論がなされた。掲載料収入以外の収入源、「地域」研究に重点をおいた企画と参加費の設定、若手育成の

取組み等について意見交換がなされた。なお、2021年度に時限措置として開始した個別報告論文における学生会員の掲載料免除措置については、2023年度大会でもって終了することとなった。会員に対しては、編集担当からの報告として、3月発行のニューズレターおよび6月の大会案内状に明記して周知し、総会で報告することになった。

関根国際化担当理事より、海外在住の会員・元会員、およびそれ以外の（当学会の活動に関心のある）海外在住の研究者へのメール配信を行い、ネットワークを構築したい旨の提案がなされた。議論の結果、クレジットカード決済導入の議論を踏まえながら検討することとなった。

(9) 次期の理事選挙のための選挙管理委員会の発足について（庶務）

鬼頭庶務担当理事より、次期の理事選挙のための選挙管理委員会の発足について説明がなされた。

(10) その他

関根国際化担当理事より、国際ワークショップの日程・会場（2024年6月29日（土）@愛知学院大学）について報告がなされた。これに関して、木原会計担当理事より、今後、国際ワークショップを大会扱いまたは支部大会扱いにして、渡し切りの助成金による会計手続きにすることを検討できる旨の説明がなされた。また、増田国際化担当理事より、学会ホームページのバイリンガル化について引き続き進めていく旨の報告がなされた。

木原会計担当理事より、インボイスに関連して支払い機関から、学会費が不課税か否かの問合せがあったため、他学会の扱いも確認のうえ「学会費（不課税）」扱いとし、学会HPにも記載した旨の説明がなされた。今後、学会費について表記する際には、「不課税」と記載することが確認された。

最後に、足立副会長より挨拶があり閉会した。

以上